

令和８年度 高校生と東広島市議会の意見交換会
「議員としゃべろう！～高校生×東広島市議会 class～」
実施報告書

学校名	広島県立河内高等学校
開催日時	令和８年７月１３日（月）１４：２５～１５：１５
会場	広島県立河内高等学校 多目的室２
参加生徒	河内高等学校２年生 ３６人
参加議員 （グループ別）	A：下向 智恵子、谷 晴美 B：景山 浩、石原 賢治 C：落海 直哉、牧尾 良二 D：奥谷 求、岡田 育三
テーマ	住みやすいまち

１ 意見交換会の概要

（司会：景山議員）

- ・開会挨拶（奥谷議長）
- ・市議会の役割等について
市議会の役割や議員の仕事について説明を行い、１８歳からの選挙権や市議会が市民生活に果たす役割について紹介した。（下向議員）
- ・意見交換
A～Dの４グループに分かれて意見交換
- ・まとめ
各グループから感想等を発表

２ 高校生から出された主な意見

（１）交通・道路・通学環境について

- ・西条駅周辺や市中心部の交通渋滞を改善してほしい。
- ・河内駅周辺や市内の公共交通（ＪＲ・バス）の利便性向上を望む声があった。
- ・駅周辺に無料駐輪場の拡張や送迎スペースを整備してほしい。
- ・青切符導入となったが、自転車道や歩道が十分整備されておらず、安全に通学できる環境づくりを求める意見があった。
- ・河内駅から学校までの通学路について、朝の登校時だけでも車の侵入を制限してほしい。
- ・駅周辺や通学路の街灯を増やし、防犯面の充実を図ってほしい。
- ・寺家駅に定期券更新ができる券売機を入れてほしい。

（２）地域の生活環境・まちづくりについて

- ・河内駅周辺には飲食店やコンビニ、遊ぶ場所など、若者が気軽に立ち寄れる場所が少なく、不便を感じている。
- ・駅前や公共施設周辺に休憩スペースやトイレを整備してほしい。
- ・ごみのポイ捨て対策やごみ箱の設置を望む意見があった。

- ・道路沿いの樹木管理や除草など、景観維持に力を入れてほしい。
- ・公園やスポーツ施設、レジャー施設など、若者が集える場所を充実させてほしい。
- ・自転車で通行しにくい八本松駅北側の道を拡幅してほしい。
- ・休日はボール遊びができるグラウンドもクラブチームが利用していることもあり、自由にサッカーなどボール遊びができる場所がほしい。

(3) 学校生活・教育環境について

- ・学校設備やトイレなどの施設を改善してほしい。
- ・制服や校則の見直しについて意見があった。
- ・体育館やグラウンドなど部活動環境の充実を望む声があった。
- ・河内高校は先生も信頼できるし、緑も多く環境がいい。この学校を選んでよかった。
- ・高校卒業後も東広島市に住み続けたいと思える魅力あるまちづくりが必要との意見があった。
- ・

(4) 防災・防犯・安心して暮らせる環境について

- ・災害時に利用できる避難所設備や備蓄の充実を望む意見があった。
- ・地域の防犯対策や夜間の安全確保を求める声があった。
- ・道路や駅周辺の危険箇所の改善を望む意見があった。
- ・安心して暮らせる生活環境づくりを進めてほしい。
- ・夜間の暴走行為や危険運転、バイクの騒音対策などを強化してほしい。
- ・工場の騒音が大きい時もあるので騒音対策をしてほしい。

3 議員の所感

- ・学生は行動範囲が広く、各駅をはじめとしたインフラ等の違いを幅広く見ており、トイレ等の設備内容についてナショナルミニマムに対する意識が高いように感じた。
- ・高校生が通学路の危険な場所を学校や行政に伝える機会があまりないため、そういった声を伝える仕組みがあればいいという意見が印象に残った。
- ・交通や生活環境に関する意見が多く寄せられる中、高校生一人ひとりが地域をよく観察し、日々感じている身近な課題を自分自身の問題として捉えていたことが印象的だった。「地域への不満を言うだけでなく、自分たちにもできることを考えたい」といった前向きな発言もあり、地域への当事者意識の高さがうかがえた。一方で、市政や議会そのものへの関心はまだ高いとは言えず、政治を身近に感じてもらう機会づくりの重要性を改めて感じた。
- ・先生方への信頼や学校への愛着を語る生徒も多く、学校全体で地域を支える温かな教育環境が印象的であった。
- ・高校生が率直に意見を述べられる場を設けることで、市では気付きにくい課題や若者ならではの視点を把握することができた。今後も継続して高校生との意見交換を実施し、若い世代の声を市政へ反映させていくことが重要であると感じた。
- ・生徒の率直な意見を直接聞くことで、新たな政策課題や地域の実情を再認識する貴重な機会となった。

4 その他特記事項

- ・ 学校側で、意見交換したい内容について事前に生徒たちが話し合う時間を設けたうえで、当日の意見交換を行った。
- ・ 高校2年生の全生徒を対象に、授業の時間（50分間）で実施した。時間が限られることから、市議会の役割の説明等は最小限とする、議員自己紹介はグループ別に行う、事後アンケートはオンラインでの回答を依頼するなど、できるだけ意見交換の時間を確保するよう努めた。
- ・ 4グループに分かれて少人数で意見交換を行い、生徒が発言しやすい雰囲気づくりに努めた。

